

署名提出緊急院内集会 主催 遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン

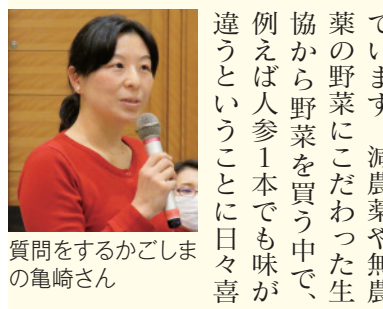
1月29日 衆議院第一議員会館
すべてのゲノム編集食品の規制・安全審査・表示を求めました



グリーンコープやまぐち生協の竹田さやかさんが、「母として妻として、日頃から家族に安心・安全なものを食べさせたい」と思っています。これらは私たちの思いの込められた署名です!と述べ、厚労省担当者へ署名を手渡しました

厚生労働省、農林水産省、環境省、消費者庁に思いを込めた署名を提出しました
ゲノム編集技術で操作された食品の安全審査を行うかどうかを検討する、厚生労働省(以下、厚労省)調査部会の審議が、昨年9月からわずか4ヵ月という短期間で終了しました。あつという間に「ゲノム編集食品」に関しては基本的に規制しない」という結論が出されようとしています。このままでは安全性もよく分

グリーンコープやまぐち生協の竹田さやかさんが、「母として妻として、日頃から家族に安心・安全なものを食べさせたい」と思っています。これらは私たちの思いの込められた署名です!と述べ、厚労省担当者へ署名を手渡しました



農民を代表して

当日講師の一人として、農民運動全国連合会の齋藤敏之さんが意見を述べました。

ゲノム編集技術がどう見ても、農民に必要なからつくっている技術ではありません。企業が農業と化学肥料をセットにしてお金を儲けるための種を作り、それを農民に使いなさいというものになっています。遺伝子組み換え技術の問題の一つには、明らかに収量が減って来たことがあります。土壌にいる微生物が劣化し、収量の低下に繋がっていることは、数々の論文で述べられています。ゲノム編集技術についてまだよく分かっていない段階で、できたものは安全だという国の評価には、人間としての驕りがあるのではないかと思います。国として安全性に責任が持てるのであれば、堂々とゲノム編集したものだとして表示していくことが必要だと私は思います。

また、事前に提出していた「ゲノム編集食品の安全性・制度・表示に関する質問」について、厚労省、農林水産省、消費者庁から回答がありました。しかし、到底消費者が納得できるような回答は得られませんでした。

また、事前に提出していた「ゲノム編集食品の安全性・制度・表示に関する質問」について、厚労省、農林水産省、消費者庁から回答がありました。しかし、到底消費者が納得できるような回答は得られませんでした。

また、事前に提出していた「ゲノム編集食品の安全性・制度・表示に関する質問」について、厚労省、農林水産省、消費者庁から回答がありました。しかし、到底消費者が納得できるような回答は得られませんでした。

種はだれのもの? 種子法の廃止が私たちの食を揺るがす?!

グリーンコープは、食の安全を脅かし生物多様性を破壊する遺伝子組み換え作物に反対する運動に取り組んでいます。2018年3月、戦後日本の食を支えてきたコメ、麦、大豆の種子の安定供給を都道府県に義務付けてきた主要農作物種子法(以下、種子法)が廃止されました。種子法は、優良品種の選定や、その原種および一般種子の生産と安定供給に都道府県が責任を持ち、良質の種子の管理供給をするという法律です。



参加者は講師の話に熱心に耳を傾けました

種子法の廃止がもたらす意味と遺伝子組み換え問題への影響について知るために、2018年12月12日、福岡市で2018年度種子法学習会が開催されました。組合員、ワーカー、職員など307人が参加しました。

種子法の廃止がもたらす意味と遺伝子組み換え問題への影響について知るために、2018年12月12日、福岡市で2018年度種子法学習会が開催されました。組合員、ワーカー、職員など307人が参加しました。

種子法の廃止がもたらす意味と遺伝子組み換え問題への影響について知るために、2018年12月12日、福岡市で2018年度種子法学習会が開催されました。組合員、ワーカー、職員など307人が参加しました。

種子法の廃止がもたらす意味と遺伝子組み換え問題への影響について知るために、2018年12月12日、福岡市で2018年度種子法学習会が開催されました。組合員、ワーカー、職員など307人が参加しました。

種子法の廃止がもたらす意味と遺伝子組み換え問題への影響について知るために、2018年12月12日、福岡市で2018年度種子法学習会が開催されました。組合員、ワーカー、職員など307人が参加しました。

台風21号・北海道胆振東部地震災害支援カンパへの協力ありがとうございました

Table with 2 columns: 贈呈額 (Donation Amount) and 贈呈先 (Recipient). It lists various organizations and their respective donation amounts, totaling 5,852,500 yen.

給していますが、今後はそれが危うくなり、食糧安全保障の危機につながるのではないかと危惧されています。種子の自家採種ができません?!

種子の自家採種ができません?! 種苗法も大幅に改正されました。現在は、育種権者、企業等と契約している場合を除いて自家採種することができません。

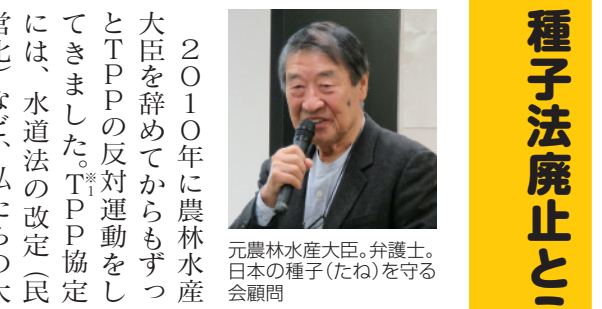
種苗法も大幅に改正されました。現在は、育種権者、企業等と契約している場合を除いて自家採種することができません。

種苗法も大幅に改正されました。現在は、育種権者、企業等と契約している場合を除いて自家採種することができません。

*残る2,500円は、「グリーンコープ産直青果生産者災害時支援基金」に積み立てられます

種子法廃止とこれからの日本の農業について

講師 山田正彦さん



元農林水産大臣、弁護士。日本の種子(たね)を守る会顧問

種子法廃止とこれからの日本の農業について 山田正彦さん 査を制度として義務付けてきました。種子法があることで、私たちは「こしひかり」や「あきたこまち」など美味しいコメを当たり前のように入ることができ、それが食べられなくなる日があるかもしれません。

種子法廃止とこれからの日本の農業について 山田正彦さん 給していますが、今後はそれが危うくなり、食糧安全保障の危機につながるのではないかと危惧されています。